

星空だより

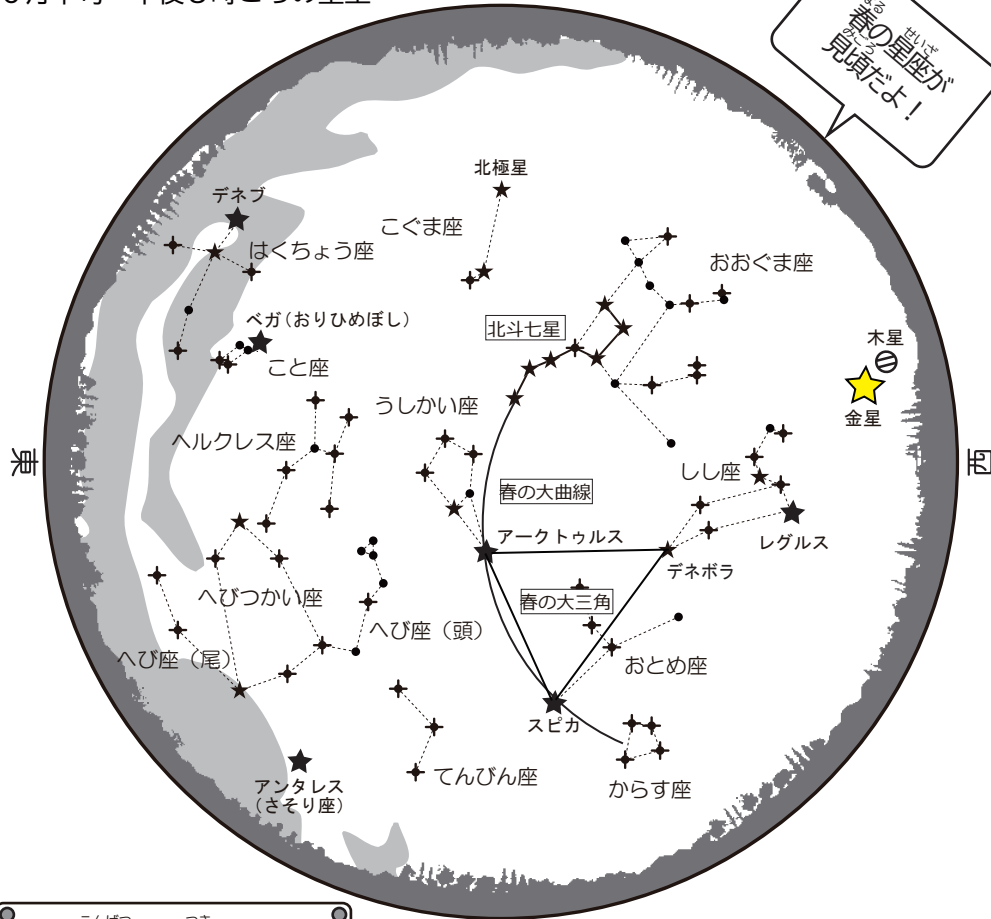
2026年6月
No. 187
富山市科学博物館



6月中旬 午後8時ごろの星空

北

ほろのせいざが
見頃だよ!



西

東

南

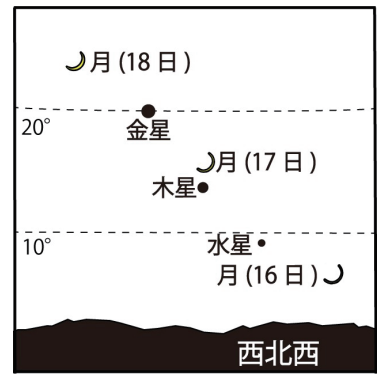
見たい方角が
下になるように持って
その方角の空を
見てね。

- ～今月のお月さま～
- 6月 8日 下弦
 - 6月 15日 新月
 - 6月 22日 上弦
 - 6月 30日 満月



3つの惑星と月が並んで見える

6月の中頃、夕方西の空で、金星・木星・水星の3つの惑星が並びます。特に6月16日～18日は、3惑星のそばに細い月が見えます。20時過ぎでも空が薄明るく、細い月や水星は見つけにくいですが、金星や木星を目印に双眼鏡などで探してみましょう。



6月16日～18日20時頃の西の空

黄道十二星座紹介 ☆てんびん座☆



てんびん座は、春から夏の変わり目にある星座で、黄道十二星座の中で唯一道具の星座です。ギリシャ神話の正義の女神アトリアが手に持つ、善悪をはかる天秤といわれています。

※黄道十二星座って?
太陽の通り道(黄道)に沿って並んだ12個の星座のこと。誕生日の12星座としてよく知られています。

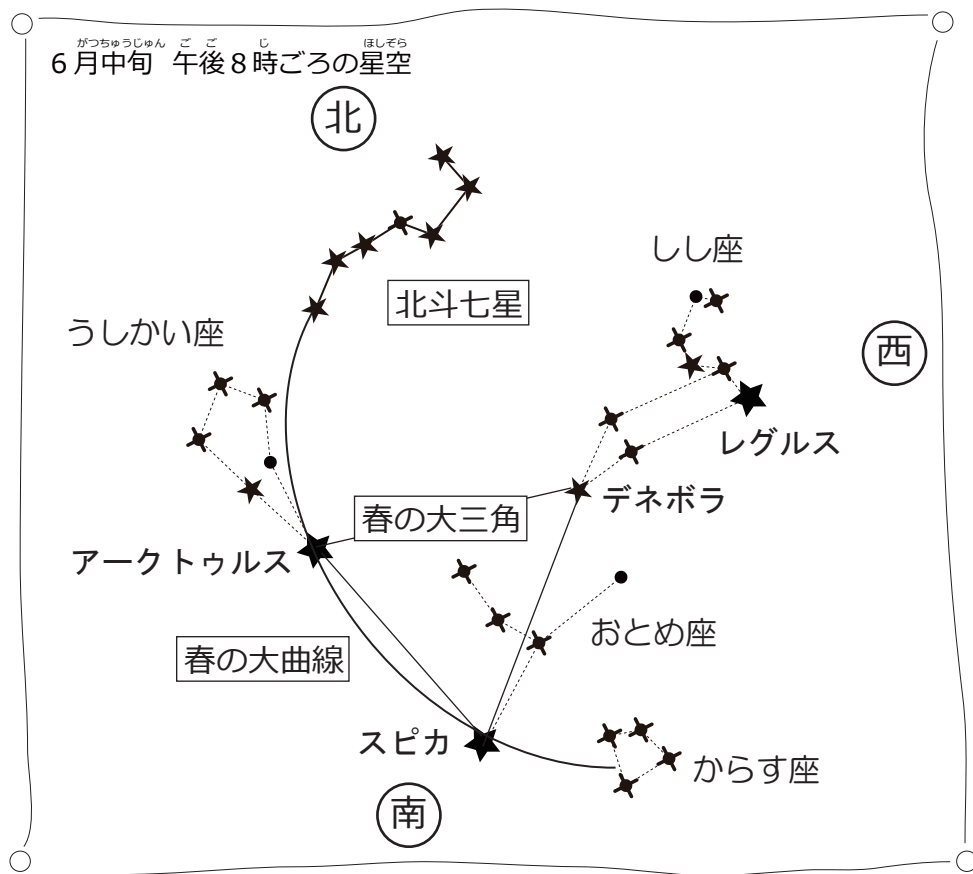
ほしぞらんかんさつかい
星空観察会

まいしゅうどうようび
毎週土曜日の夜に開催。

詳しくはウェブサイトをご覧ください。

今月の さがしてみよう

春の大曲線



春の大曲線は、北斗七星の「スプーン」の形をした星々の持ち手の先から、うしかい座のアークトゥルス、おとめ座のスピカとつないでできる大きな曲線です。この大曲線はスピカからさらに伸ばして、からす座までと説明されることもあります。からす座までのばすと、「アークトゥルス→スピカ→からす」と、しりとりになりますよ。

今月のオススメ星座！

ラスアルハゲ

へびつかい座



将棋の駒のような形の星座です。頭のところにある星は、ラスアルハゲという2等星で、「へびつかいの頭」という意味です。手に持つへびはへび座という別の星座で、へびつかい座をはさんで頭と尾に分かれています。



ヘルクレス座

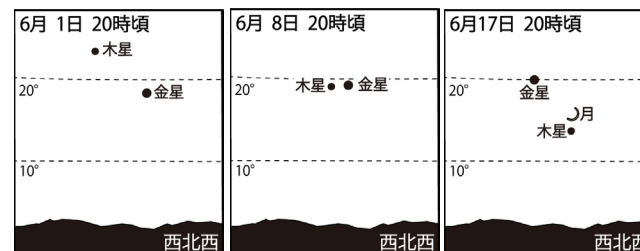
ギリシャ神話の英雄ヘラクレス（星座ではヘルクレス座といます。）が、星座となって東の空の高いところに見られます。頭文字と同じHの形が目印です。

天文コラム

金星と木星

6月の夕方、西の空に明るく輝く星が2つ見えます。明るい方の星が宵の明星「金星」、もう一つが太陽系最大の惑星「木星」です。どちらの惑星も非常に明るいため、日の入り後、空が薄明るい中でも簡単にみつけることができます。

6月の始めごろでは木星の方が上にありますが、日に日に近づいていき、8日には横にならんで見えます。その後は、金星の方が上になります。



金星と木星の位置の変化